

自由民主党要望項目一覧

平成26年度9月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>1 スカイマーク路線の維持について</p> <p>米子空港を発着するスカイマーク路線の維持を引き続き、スカイマークに強く働きかけるとともに、県としても、搭乗率の向上に資する取組をさらに進めること。</p>	<p>スカイマーク便については、今年度の冬ダイヤ（10月26日～）が発表され、成田便の運休に加え、羽田便及び札幌便が神戸乗継設定となり、直行便再開に向けた取組強化が急務となっている。8月19日には、平井知事が西久保社長と面談し、夏ダイヤでの直行便再開について要望するとともに、神戸市において神戸乗継便の利用促進についてトップセールスを行った。今後も、搭乗率向上の取組を強化するとともに、スカイマーク社に対しても直行便の復活を引き続き強力に働きかけていく。</p> <p>9月補正予算においては、首都圏からの観光客をターゲットとした情報発信や、旅行会社等と連携した搭乗促進などを検討している。</p> <p>【9月補正】国内航空便利用促進事業 16,400千円 県内航空路線活用緊急対策事業 33,044千円</p>
<p>2 児童虐待への対応について</p> <p>平成25年度に全国の児童相談所が対応した児童虐待の件数が7万件を突破し、過去最多を更新しており、本県でも平成24年度比150%増の155件となっている。児童虐待対応件数の増加に対応できるよう、児童相談所、情緒障害児短期治療施設等の体制強化を図ること。</p>	<p>虐待対応件数の増加に応じて、中央児童相談所においては、平成25年度中途に一時保護所勤務の非常勤職員1名を配置し、平成26年度には児童福祉司を1名、一時保護所勤務の非常勤職員をさらに1名増員した。さらに、米子児童相談所においても、平成26年度に一時保護所の児童指導員を1名増員し、体制の強化を図ったところである。</p> <p>情緒障害児短期治療施設等の体制強化については、虐待を受けた児童等個別の支援が必要な児童の支援を充実するため上乗せ助成（職員加配）を実施しており、9月補正において対象児童の増加に伴う増額を検討中である。今後も虐待対応件数を注視し、体制の強化について検討していきたい。</p> <p>また、虐待対応の強化に向けて各児童相談所と市町村との個別ケースごとの検討会議を随時開催するなど、虐待防止に向けて今後も市町村と緊密な連携を図っていきたい。</p> <p>【9月補正】児童養護施設等処遇向上対策事業 4,852千円</p>
<p>3 拉致被害者支援について</p> <p>今年9月にも、北朝鮮から日本人拉致被害者らの安否報告がなされるとの報道がある。県として、拉致被害者が帰国された際に、万全な支援ができるよう、準備を進めるとともに、国に対して、引き続き、国による支援の拡充、国と自治体の役割分担の明確化などを強く働きかけること。</p>	<p>拉致被害者の帰国に備え、米子市等と連携して具体的な支援について準備を進めているところであり、必要な経費について9月補正予算で検討する。</p> <p>なお、政府は新たな拉致被害者等の帰国に備えて支援策の拡充等について決定し、拉致被害者支援法の改正案を秋の臨時国会に議員立法で提出する方針であり、必要な経費を平成27年度の概算要求に盛り込む予定である。</p> <p>引き続き、国及び関係自治体と連携し、それぞれの役割を分担して受け入れ準備を進めていく。</p> <p>【9月補正】北朝鮮による拉致被害者等帰国緊急支援事業 8,000千円</p>
<p>4 危険ドラッグ対策について</p> <p>危険ドラッグによる交通事故等が全国で発生してお</p>	<p>危険ドラッグは非常に危険な薬物にもかかわらず、指定しても化学構造の一部を変え法規制の網を</p>

要望項目	左 に対する 対応方針等
<p>り、社会問題化している。県内でもこれまでに危険ドラッグによる健康被害や事件が発生していることから、警察本部とも連携し、鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例の改正、道路交通法の適用等、実効性のある危険ドラッグ対策を進めること。</p>	<p>逃れるような行為が横行し、取締りが極めて困難という状況にある。</p> <p>現在、県では危険ドラッグへの対応として、知事指定の有無にかかわらず興奮、幻覚、陶酔などの作用を及ぼし、健康被害外を引き起こす危険ドラッグを「危険薬物」として幅広く規制し、罰則も科す方向で「鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例」の改正を検討している。</p> <p>今後、県警察とも連携し、一層の規制強化に取り組む。</p> <p>【9月補正】危険ドラッグ撲滅事業 6, 5 5 2千円</p> <p>また、県警察では、現在、県内でも危険ドラッグの乱用者による物損交通事故が発生するなど、薬物対策上の新たな課題となっているこの種事案について、道路交通法第66条に規定する「過労運転等の禁止（薬物運転）」の立件にとどまること無く、より罰則の重い自動車運転死傷処罰法に規定する「危険運転致死傷罪」を視野に捜査を進めることとしており、この種事案が発生した場合に適切な初動対応が取れるよう、8月8日県下警察署の交通課長等34名に対し初動対応要領等について研修会を開催したところである。</p> <p>末端薬物乱用者の徹底検挙を推進するとともに、県等関係機関・団体と連携して「危険ドラッグ」という呼称を活用した広報啓発活動や危険ドラッグの販売実態把握に努めて参りたい。</p>
<p>5 空き家（危険家屋）対策について</p>	
<p>今年7月に総務省が公表した住宅・土地統計調査によると、全国の空き家数、率ともに過去最高を更新し、本県でも全国平均を上回る空き家率となっている。空き家の老朽化が進むと、倒壊の危険、犯罪の誘発、ごみの不法投棄、害虫の発生など、周辺環境に悪影響を及ぼすことが危惧される。</p> <p>今後、高齢化と人口減が加速する中、空き家がますます増加することが予想されることから、県としても、県内市町村と連携し、空き家（危険家屋）の維持管理、さらには除去等の抜本的な空き家対策を検討すること。</p>	<p>平成24年12月に県・市町村の関係課により鳥取県空き家対策協議会を設立し、国・県の支援制度、各市町村及び他県の取組事例について意見交換をしているところであり、9市町で空き家の適正管理に係る条例が制定されている。現在、自民党空き家対策推進議員連盟が「空き家対策の推進に関する特別措置法(案)」を策定中で、議員立法により秋の臨時国会での成立を目指しており、同法に係る国施策の動向を踏まえ、引き続き市町村と連携して県内の空き家の実態に即した対策に取り組むこととしている。</p>
<p>6 台風・長雨への対応について</p>	
<p>本県では、今月に入り、台風、長雨などによる悪天候や日照不足が続いており、農作物や観光などへの悪影響が懸念される。</p> <p>県として、状況を調査・把握し、必要な措置を講じること。</p>	<p>8月に入ってから長雨・寡日照による農作物への影響について、水稻の穂もちが拡大した場合、減収への影響が懸念されることから、8月20日、イネいもち病の発生予察警報を発表した。今後、追加防除に要する経費補助を予備費により対応するとともに、果樹、野菜等の被害を受けた農業者への融資支援を行う。</p> <p>現時点で影響がない作物についても、气象台やJAなどで構成する鳥取県農業気象協議会を通じ、8月20日に技術情報を関係機関に提供し、管理対策を徹底した。</p> <p>引き続き、普及所等を通じて作物への影響を注視し、必要な対策を講じていく。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
	<p> 【予備費】 平成26年度水稲いもち病緊急防除支援事業 10,000千円 【9月補正】 果樹等経営安定資金利子助成事業（霜被害・長雨日照不足対策） 330千円 （融資枠100,000千円の増額） </p> <p> また、台風や長雨により土砂災害の危険性は高まり、更に地質等によっても危険性の度合いは異なるため、先の広島県の大規模土砂災害を踏まえ、地質に起因した土砂災害の危険性がより高いと想定される区域の地質（まさ土、大山火山灰）及び地形状況等を調査・点検し、その結果について地域住民等へ周知を図ることにより、自主避難及び避難勧告等の判断に資するとともに、今後のハード対策の優先度的指標に活用する。 </p> <p> 併せて、地域防災力の向上を目的として、土砂災害の模型等を活用した防災教育や有識者による裏山診断等のソフト対策を推進する。 </p> <p> さらに、土砂災害警戒区域（イエロー区域）の100%指定促進のため、パンフレット等による啓発により対象住民の理解を得るとともに、告示図書の修正等を行う。 </p> <p> 【9月補正】 土砂災害防止緊急調査・推進事業 38,582千円 </p> <p> 観光面においては、単なる雨などの天候不順による影響はなかったが、台風によるキャンセルがあり、特に今回は書き入れ時に重なったため影響が大きかった。 </p> <p> そのため、平成26年度下半期の対策として、9月補正予算で、航空路線を利用した誘客やバス旅行商品の催行促進などを検討中である。 </p> <p> なお、台風11号などの悪天候による旅館の宿泊キャンセルなどに対しては、商工団体における経営相談をはじめ、県制度融資（地域経済変動対策資金）に対応枠を設置し、特例的に信用保証料の引き下げを行うこととした。 </p> <p> 【9月補正】 国内航空便利用促進事業 16,400千円 県内航空路線活用緊急対策事業 33,044千円 「ぐるっと山陰」誘客促進事業 5,000千円（補正後25,000千円） </p>